



# 京都大学グローバル COE プログラム

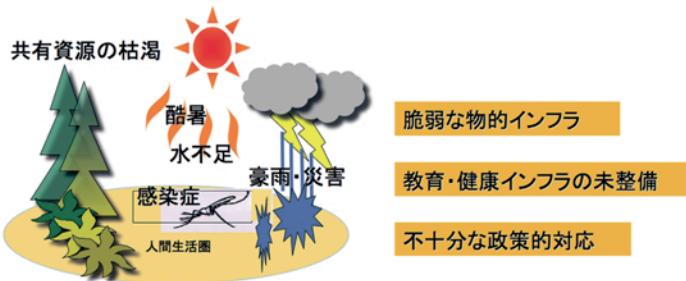
## 生存基盤持続型の発展を目指す地域研究拠点



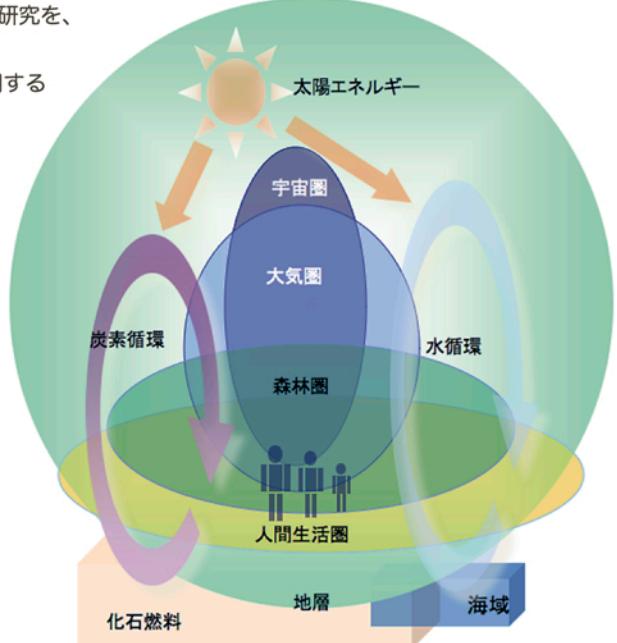
今日、我々を取り巻く技術や制度は、地表・温帯中心の見方に偏っており、熱帯の厳しい現実を反映していない。

本 G-COE プログラムでは、フィールドワークに基づく総合的なアジア・アフリカ研究を、地球環境と物質エネルギー循環に関する先端科学技術研究と融合することにより、地表から生存圏へ、温帯から熱帯へと視点を移し、グローバルにもローカルにも通用する「持続型生存基盤」パラダイムの創出を目指している。

### 熱帯地域の現実



### 生存圏からの視点



### 京都大学

#### 地域理解指向型拠点

東南アジア研究所 アジア・アフリカ地域研究研究科  
アフリカ地域研究資料センター 地域研究統合情報センター  
人文科学研究所

#### 技術開発指向型拠点

生存圏研究所 農学研究科 工学研究科  
生存基盤科学研究ユニット 医学研究科

### パラダイム創出型地域研究拠点の形成

研究教育面での幅広い文理融合  
長期的にグローバルな視野の獲得

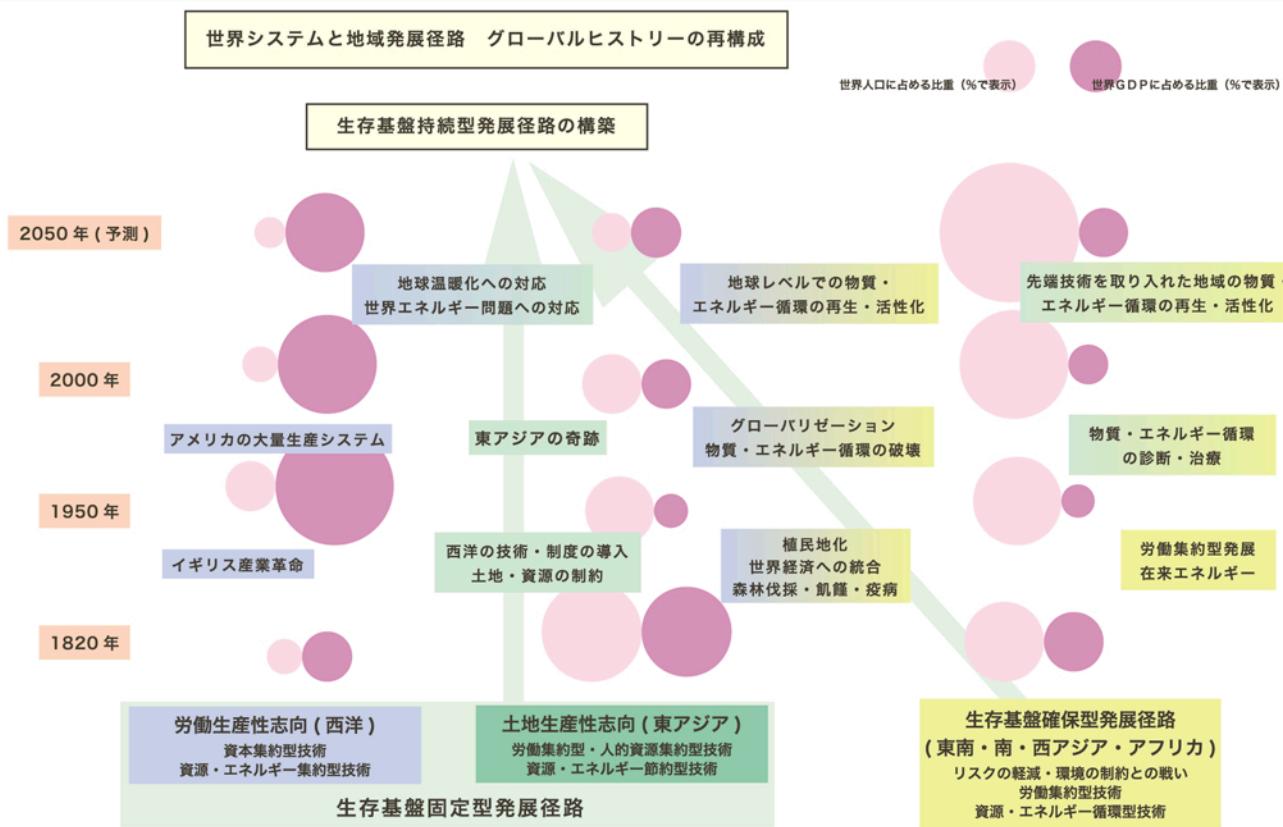
### 海外教育・研究拠点

フィールドステーション、大型実験・観測基地





## 生存基盤持続型の発展を目指す地域研究拠点



本プログラムは、アジア・アフリカ地域の持続的発展に関する学際的研究をグローバルで長期的な視野から、多面的に行います。「持続型生存基盤パラダイム」の創出という未来志向型の課題のもとで先駆的な研究を実施し、その現場で若手の人材育成を行うものです。地域研究と、先端技術開発研究の対話と融合を促進しながらパラダイム形成及び、4つのイニシアティブにおける研究活動を促進します。

## 4つの基幹研究 (イニシアティブ)

- 環境・技術・制度の長期ダイナミクス 数世紀にわたる地域の長期発展径路を律してきた技術や制度の径路依存性をふまえて、先端技術や制度革新の方向を探る。
- 人と自然の共生研究 農学、生態研究をベースにした文理融合型研究を、より広い生存圏研究の枠組に拡大。
- 地域生存基盤研究 スマトラの19万ヘクタールの森林再生をめぐる地域社会の総合的生存基盤研究。
- 知的潜在力研究 生存基盤確保型の発展をささえてきた価値観や地域固有の知的潜在力を明らかにする。

